

種智院大学

平成 27 年度 再評価
評価報告書

平成 28 年 3 月

公益財団法人 日本高等教育評価機構

種智院大学

I 再評価結果

【判定】

再評価の結果、種智院大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する。

II 総評

平成 25(2013)年度の認証評価において、基準項目 3-6「財務基盤と収支」については、財務基盤が極めて不安定であるにもかかわらず、中長期にわたる財務計画が作成されており、更に学生生徒等納付金収入の継続的な確保など財務安定化に向けた抜本的な改善が必要であり、基準項目を満たしていないとし、基準 3「経営・管理と財務」を満たしていないとした。

しかしながら、この基準を満たしていないと判断した要因となる事項については 1 年以内に改善が可能であると判断したので、再評価の結果を待って最終的に判定することとし、大学の総合的な判断を保留とした。

平成 27(2015)年度に基準 3 の基準項目 3-6 について、平成 25(2013)年度の認証評価時に指摘した改善事項の内容を中心に再評価を行った結果、大学は、指摘した内容を真摯に受止め、指摘事項については改善されたことが確認できた。今後も継続的に自己点検・評価を行い、質の保証と改善に努めることを期待する。

III 基準ごとの評価

基準 3. 経営・管理と財務

【評価結果】

基準 3 を満たしている。基準項目ごとの評価結果と理由については、以下に述べる。

3-6 財務基盤と収支

3-6-① 中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立

3-6-② 安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保

【評価結果】

基準項目 3-6 を満たしている。

【理由】

大学は、平成 26(2014)年 7 月「学校法人綜藝種智院 経営改善計画（平成 26 年度～30 年度）」を策定し、その後、文部科学省私学部の「学校法人経営指導室」からのアドバイス

種智院大学

をもとに運営している。

今後、収容定員を減らし、定員充足率を上げることで補助金収入を増やし、更に真言宗各本山からの経営協力による寄附金収入や事業収入の増加も見込め、収支バランスの改善につながることを期待される。

また、真言宗各本山からの資金援助の保証が理事会で報告・承認され、財務基盤の安定も見込まれる。

